

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

2010-2011 国際ロータリー
第2660地区

地区委員会

活動報告書

ガバナー

松本 新太郎



地域を育み、大陸をつなぐ

目 次

	ガバナー挨拶	1
	地区ガバナー指名委員会	2
	意義ある業績賞委員会	3
	地区研修委員会	4
クラブ奉仕部門	クラブ奉仕・拡大増強委員会	5
〃	広報委員会	6
職業奉仕部門	職業奉仕委員会	7
社会奉仕部門	社会奉仕委員会	8
青少年奉仕部門	青少年活動委員会	10
〃	ローターアクト委員会	11
〃	インターアクト委員会	12
〃	青少年交換委員会	14
国際奉仕部門	国際奉仕・WCS 委員会	15
ロータリー財団部門	ロータリー財団委員会	16
〃	財団情報・増進委員会	17
〃	財団奨学金・学友委員会	18
〃	研究グループ交換委員会	19
〃	財団人道的補助金委員会	20
米山奨学部門	米山奨学委員会	21
	地区大会実行委員会	22
	ロータリーの友	23
	財務委員会	24
	2010—2011年度 国際ロータリー第2660地区 地区資金決算書	26

ガバナー挨拶

地区委員会の皆様 ありがとうございました

ガバナー **松本 新太郎**

レイ・クリンギンスミスR I 会長の「Building Communities Bridging Continents : 地域を育み、大陸をつなぐ」のテーマのもと、2010-2011年度も国際ロータリー第2660地区では活発なロータリー活動が行われました。これもひとえに地区委員としてご活躍いただいた数多くの方々をはじめ、それをご支援いただいた各クラブのロータリアン、関係各位のご理解とご協力、ご尽力のおかげと心より御礼申し上げます。

地区内の皆様方に対して私はこの一年間「ロータリークラブについてもう一度考えてみませんか」と問いかけてまいりました。これを受けて地区委員会でも、これまでの慣習にとらわれない斬新な発想で活動内容や運営方法などについて議論、実践いただいたことと思います。

そしてまた2011年3月に発生した東日本大震災は、私たちの生き方を見直す大きな契機となっただけでなく、私たちがこれまで取り組んできたロータリー活動のあり方についても今一度原点に戻って見つめ直すきっかけにもなったのではないのでしょうか。

そのような環境の中、会員数減少に伴う厳しい財政事情にもかかわらず、深く考え積極的に行動を続けてくださった地区委員会の皆様には、改めて深い感謝の意と尊敬の念を表します。この一年間、難しい状況もあったかと思いますが、その中で経験されたことを胸に刻んで今後活かしていただくことを心より期待しております。

地区委員会で気づき学ばれたことを皆様ご自身の今後のロータリー活動にお役立ていただくことはもちろん、会社やご家庭でも応用いただければ、この一年間の経験はさらに大きな財産となることでしょう。

そしてまた、地区で得たものをホームクラブに還元していただくことが、クラブの活性化にも必ずやつながるはずです。加えて地区で得られる様々な機会について、クラブの皆様にもぜひおしえてあげてください。より幅広い人材が地区での活動に関心を持ち各クラブから送り出していただくことができれば、地区委員会の活動が活気づくことはもちろん、各クラブのロータリアンの一層のレベルアップにも寄与することは間違いありません。

こうした好循環が今後も続き、よりよいものとなっていくことで皆様ご自身の成長に、そしてクラブや地区、ロータリーの発展にもつながっていくことを大いに期待しております。

一年間、本当にありがとうございました。そして新しい年度も岡部泰鑑ガバナーのもと、それぞれの立場こそ変われ、ますますご活躍、ご発展いただきますことを心から願っております。

地区ガバナー指名委員会

委員長 大谷 透 (大阪西南)
委員 神崎 茂 (大阪西)
委員 岩田 宙造 (大阪南)
委員 新谷 秀一 (池田くれは)
委員 横山 守雄 (大阪中央)

●実施状況及びコメント

ガバナー月信9月号において、2013-2014年度ガバナー候補者の推薦を地区内全クラブに対して依頼致しましたが、締切り期日までにお申し出がありませんでした。

従いまして、当委員会は国際ロータリー細則第13条、及び当地区ガバナー指名委員会の規約に基づき、2011年6月17日に開催されました委員会で慎重審議の結果、6月22日に開催される八尾中央ロータリークラブ理事会の同意をもって、八尾中央ロータリークラブ会員、福家 宏君をガバナー・ノミネー候補者として推薦することに 全員一致をもって、決定致しました。

ガバナー指名委員会の決定に基づき、松本新太郎ガバナーは福家宏君を2013-2014年度ガバナーとして指名宣言されました。委員会の皆様のご協力に感謝申し上げご報告とさせていただきます。

意義ある業績賞委員会

(山手)	蘆市	森金	員委	(関西)	幸	田百	員委	委員長	大谷	透	(大阪西南)
(山手)	野	木三	員委	(関西)	夫期	土共	員委	委員	新谷	秀一	(池田くれは)
(東大塚)	銀	櫻天	員委	(西大塚)	苺	藤林	員委	委員	横山	守雄	(大阪中央)
(東工田原)	幸新	土西	員委	(東中塚)	滋守	山嶽	員委				
(西本天)	千崇	里宮	員委								
(中塚)	一様	田敏	員委								
(山手)	藤菜	林木	員委								

●実施状況及びコメント

ロータリークラブの活動の中で、社会的に有意義で、かつ卓越した活動に対して、RI会長は「意義ある業績賞」を地区内の一つのクラブに贈呈し、地区大会で表彰します。当委員会はその受賞該当クラブを選考し、松本新太郎ガバナーに報告することがその役目となります。

本年度は、歴史と伝統のある当地区における社会奉仕・国際奉仕の奉仕実績に鑑み、本賞に価すると自己評価できるだけの奉仕プロジェクトがどのクラブにおいてもなされなかったと見えて、どのクラブからも申請が行われませんでした。本年度はその事を公表し、選考基準を再度地区内全クラブに伝達し、今後は当地区における奉仕実績の高い伝統を更に高めるべく、よき奉仕活動がなされるように奨励して頂くよう、松本新太郎ガバナーへその旨ご報告致しました。

地区研修委員会

リーダー	戸田 孝 (八尾)	委員	金森 市造 (くずは)
サブリーダー	井上 暎夫 (千里)	委員	三木 優 (大阪イブニング)
サブリーダー	神崎 茂 (大阪西)	委員	矢野 巖 (大阪大淀)
サブリーダー	横山 守雄 (大阪中央)	委員	西上 博幸 (吹田江坂)
		委員	宮里 唯子 (茨木西)
		委員	畑田 耕一 (豊中)
		委員	木村 芳樹 (大阪南)

●実施状況及びコメント

1 各RCに、過去の情報委員会に代わって、研修委員会が ①研修リーダーの選任 ②研修委員会の役割 ③研修の為に教材の準備 ④地区からの支援などで研修の実を上げ、ロータリアンにロータリーの基本知識、クラブの歴史や活動方針、目的について定期的研修に会合を開き、ロータリーへの認識を深めることに努めました。

地区研修委員・畑田耕一氏が中心となって作成された「ロータリーの心と実践」等を参考に、各会員がロータリーへの理解を深めることが大切です。

各RCでロータリアンに、ロータリーの真髄を伝えることで、よりよい人材を輩出するために、各ロータリークラブで具体的に取組もうではありませんか。

2 地区の研修会に研修委員会から講師を派遣して、各クラブから参加される指導者の皆さんの研修に寄与しています。例えば、

- ①地区チーム研修セミナー
- ②会長エレクト研修セミナー
- ③地区協議会
- ④地区会員増強セミナー
- ⑤地区ロータリー財団セミナー
- ⑥合同地区委員会

などの講師として皆さんの研修のお役にたつように研鑽を積んでいます。

クラブ奉仕・拡大増強委員会

(東大) 光朝 敬康 副委員長
(東大) 志登 昌中 副委員長
(西大) 谷城 稔平 副委員長
(中京大) 宍宗 口西 副委員長
(東大) 志恭 劉山 副委員長
(西大) 美五 共永 副委員長

委員長 安養寺敏彦 (交野)
副委員長 常國 克輔 (大阪城北)
副委員長 西村 俊彦 (東大阪みどり)

委員 松尾 浩一 (大阪南)
委員 堀 隆 (大阪東)
委員 松田 清司 (大阪東南)
委員 東村 高良 (大阪うつぼ)
委員 向井 秀史 (新大阪)
委員 吉村 昭 (大阪平野)

●活動報告

各クラブの会員増強に対する意識改革を即すために、次年度に入る前の2010年5月29日(土)にY M C A 会館において、2010-11年度のための会員増強セミナーを「ロータリーにルネッサンスを・・・真の会員増強を目指して・・・」のテーマで第2710地区パストガバナーの西村栄時氏をお招きして講演をいただきました。

また、事前に各クラブの次年度会長宛にアンケート調査をして、その中より5名の方々に意見を発表していただき、私たちの進むべき道を討論しました。

8月の会員増強月間中に要請のあった6クラブに卓話に伺い、会員増強委員長は勿論ですが会長がリーダーになっていただき、事あるごとに会員増強の言葉を発して熱く語り続けていただけるようお願いしました。

松本新太郎ガバナーは各クラブで1名の拡大をしていただくと、第2660地区85クラブ(2011-12年度は82クラブ)で85名の純増になりますと目標を設定されておられました。

結果は第2660地区で14年間連続で減り続けていた2010年7月の会員数3742名であった会員数が2011年7月1日、新年度発足の会員数が3647名でクラブ数が減ったり東日本大震災などの減少要因は有ったと思いますが95名の減少となり、残念ながら目標は達成できませんでしたが皆さんの危機的な状態の意識付けはできたと考えております。

●1年間を振り返って

クラブで会員を一人でも拡大をした経験のある会員は全国平均で5~6%しかいないという現実があります。拡大をする人は決まっています数十人おられますが、他の人は他人事になっている気がします。各クラブの会長がその気になって幅広く一人1名以上の拡大をしてほしいと熱く語り続けられれば、会員拡大は難しくないと考えます。

女性問題もカリフォルニア州で訴訟されて、定款変更されてから22年たっておりますが未だに拒否反応をする会員が居られます。この問題も改めなくてはならないと思います。

結びに、どんな事業でも会長の熱い熱意で、クラブは活性化すると確信します

広報委員会

委員長	片山 一步 (大阪住之江)	委員	熊坂 隆光 (大阪)
副委員長	中島 武 (大阪堂島)	委員	中島 豊彦 (大阪天満橋)
		委員	平野 誠治 (大阪西北)
		委員	西口 宗宏 (大阪中央)
		委員	山陰 恭志 (八尾)
		委員	永井 正美 (大阪城南)

●実施状況及びコメント

ロータリーの広報を「告知広報」と「ブランド広報」に分けて考えるようにし、告知広報は原則として各クラブで行うこととし、ブランド広報こそ、地区委員会が担うべきものと考えた。

ブランド広報は「尊敬される・自慢できる」ロータリー活動を広報し、ロータリーブランドの向上により、会員増強につなげようというものである。

前年度からひきつづき、新聞、ラジオ、インターネットなどのマスメディアを使って広報しながら、今年度は、テレビを使ってのブランド広報を模索した結果、次年度7月に「ロータリーによるポリオ撲滅活動」の30分番組を放映する準備が出来た。

今年度の活動状況は、次のとおり。

- ①地区広報委員会会議 ～随時開催した。
- ②インターネット(HPによる情報提供)
 - (1)Rotary At Work ～広報委員会独自に取材した告知広報を行った。
 - (2)YouTubeビデオチャンネル ～海外の動画情報を含めて整理掲載している。
- ③クラブ広報委員長会議 ～ブランド広報を模索する会議を開催した。
- ④TV番組 ～ポリオ撲滅活動のテレビ番組放映を模索し、次年度放映につなげた。
- ⑤新聞+WEB広告 ～産経関西のHPにおいて「第2660地区通信」として投稿記事を中心として掲載している。内容によっては新聞記事に掲載した。
- ⑥ラジオ ～ラジオ大阪にて「フレンドリーだな・ロータリー」(8分・8回)とのタイトルで8人のガバナ一補佐に出演して、一般の方々にロータリークラブを知っていただくために特長のあるクラブ紹介などをやさしくお話をしていただいた。

●その他特記事項

ブランド広報は、1年限りでは効果が薄く、次々年度以降も継続的に戦略的にすすめていくべきものと考えられる。

●1年間を振り返って

危機的な状況となっているロータリーの会員減少について、ブランド広報の重要性を再認識してもらうこと、地区広報の重要性を認識してもらうことを主眼において活動をしてきた。テレビによるブランド広報に道筋をつけることが出来たことは、当委員会としては存外の成果であった。

職業奉仕委員会

(東大)	巖	山口	委員長	鈴木	洋	(八尾東)	委員	岸本	隆之	(豊中千里)
(大)	志	田高	副委員長	中嶋	進治	(大阪城東)	委員	生駒	俊雄	(高槻)
(大)	匠	木	副委員長	長崎	弘芳	(大東中央)	委員	庄野	晋吉	(大阪)
(大)	夫	宮西					委員	岡本	雄介	(大阪大手前)
(大)	主	田								
(大)	源	田								

●実施状況及びコメント

ロータリークラブは職業を絆とする人たちの集まりですから、まず何よりも会員各自がその職業に関係する全ての人々の立場に立ち、高い倫理観を持って職業活動を行うことが大切です。そのような会員を育てる道場が、ロータリークラブであり毎週の例会なのです。その為のプログラムの立案・実行、すなわち「入りて学び、出でて奉仕せよ」のための研修と勉強会の支援が職業奉仕委員会の大切な役割です。このことをクラブ職業奉仕委員長に理解頂き、有効なプログラムを計画・実行していただけるように努めました。

- ①アンケートを2回実施しました。
全クラブに計画1回、実施1回の計2回のアンケートを行い、各々代表10クラブにクラブ職業奉仕委員長会議の場で報告頂き参考にさせていただきました。
- ②10年来行ってきた「出前授業」を更に推進しました。
- ③クラブ職業奉仕委員長を中心とする卓話とフォーラムを10月の職業奉仕月間に実施していただきました。(7割のクラブで実施)
- ④日本国内他地区との情報交換を実施しました。
33地区に当地区の活動状況を示す資料をメールし、14の地区から回答と資料をいただきました。多くの参考になる資料を頂き2660地区が他地区に比べてアクティブに活動していることも確認できました。
- ⑤会議は「クラブ職業奉仕委員長会議」を2回、地区職業委員会を5回行いました。

●1年間を振り返って

10月の職業奉仕月間には卓話の依頼が来るだろうと考え、7人の委員全てがいつでもクラブへ参上できる体制にしていたましたが、一人もお座敷はかかりませんでした。クラブ職業奉仕委員長がご自分で卓話をしていただいた結果でした。

委員7名と地区委員の畑田さんそして何よりも顧問として指導いただくだけでなく、委員会の会場まで提供いただいた神崎さんに感謝します。

一	代表	立								
OTA	表	術								
一	七	八								
一	七	八								
一	七	八								
一	七	八								

社会奉仕委員会

委員長 表 寛治 (池田くれは)

委員 片山 勉 (大阪東)

副委員長 川上 大雄 (大阪ユニバーサルシティ)

委員 高田 知彦 (大阪リバーサイド)

委員 初木 賢司 (くずは)

委員 西宮 富夫 (箕面)

委員 鋤田 充生 (大阪天満橋)

委員 横田 聡 (摂津)

2/ 8	次年度委員会事業予定及び予算打ち合わせ	ガバナー事務所
3/20	PETS 地区チーム研修セミナー	大阪国際会議場
4/ 2	2010~11年度地区協議会事前説明会	大阪国際会議場
4/12	第1回地区社会奉仕委員会	ガバナー事務所
4/24	地区協議会及び部門別協議会	大阪国際会議場
6/14	新旧地区社会奉仕委員会	
6/29	第33回豊かな環境づくり大阪府民会議総会	追手門学院大阪城スクエア大手前ホール
7/15	第1回財団法人道的補助金審査委員会	ガバナー事務所
7/17	2010~11年度合同地区委員会	大阪YMCA会館
8/ 9	第2回地区社会奉仕委員会	ガバナー事務所
8/31	大阪府赤十字血液センター「まいどなんば献血ルーム」開所式	まいどなんば献血ルーム
9/ 4	第1回クラブ社会奉仕委員長会議	薬業年金会館
9/16	第2回財団法人道的補助金審査委員会	ガバナー事務所
9/21	RCコーディネータープログラムと長期セミナー	ホテルグランヴィア広島
10/18	次年度地区委員会の編成について	ガバナー事務所
10/29~30	地区大会 友愛の広場に日本赤十字 献血キャンペーンのポスター展示	大阪国際会議場
11/ 4	奄美地方豪雨災害義捐金募集のお願い	
11/ 5~6	全国献血(推進)団体担当者会議	日本赤十字社分画センター札幌
11/14	薬物乱用防止運動	ホテル・メトロ
11/18	第3回財団法人道的補助金審査委員会	ガバナー事務所
11/26	大阪府薬物乱用防止功労者 知事感謝状贈呈式 大東RC 大東中央RC 池田RC 大阪城東RC 千里メイプルRC 受賞	大阪国際会議場
11/26~27	2010~11年度 第39回ロータリー研究会	大阪国際会議場
12/ 1	大阪府献血感謝のつどい 東大阪東RC (金色有功章) 吹田西RC (金色柶支部長感謝状) 東大阪西RC (銀色柶支部長感謝状)	府立労働センター
12/15	23年度豊かな環境づくり大阪行動計画に関して	南港ATC
1/17	第3回地区社会奉仕委員会	
1/20	第4回財団法人道的補助金審査委員会	ガバナー事務所
2/ 8	第34回豊かな環境づくり大阪府民会議総会	追手門学院大阪城スクエア大手前ホール
2/19	第2回クラブ社会奉仕委員長会議	薬業年金会館
2/23	「ニュージーランド地震義捐金」についてのお願い	

3/17	第5回人道的補助金審査委員会	ガバナー事務所
3/18	「東日本大震災への義捐金」についてのお願い	
4/15	平成22年度大阪府「ダメ。ゼッタイ」普及運動実行委員会	プリムローズ大阪
5/11	平成23年「春の全国交通安全運動」キャンペーン	大阪府庁
5/12	第6回財団法人道的補助金審査委員会	ガバナー事務所
6/ 6	地区新旧合同社会奉仕委員会	
6/14	豊かな環境づくり大阪府民会議臨時企画委員会	大阪府公館
6/28	豊かな環境づくり大阪府民会議23年度総会	大阪府公館

(第15号) 二誌 本間

○2009～10年度 クラブ社会奉仕活動事例集 作成 各クラブに配布

○「奄美地方豪雨災害義捐金」 ガバナー月信 1月号

○「ニュージーランド地震義捐金」 ガバナー月信 5月号

○「東日本大震災義捐金」 第1回分 ガバナー月信 5月号

○ 同上 第2回分 ガバナー月信 6月号で皆様にお礼とご報告を掲載

3月11日の東日本大震災、冬から春そして、初夏を迎える今、多くの方々が避難所で生活をされています。今後更なる皆様のご支援をお願いします。

OR女機大：てそイスホ

日11～日9R01#010S：日謝開

スバくヤキ機高 卒大西関：西 機

OR女機大：てそイスホ

(.式J志J機中、高の災備大本日東)

(そトそ機研)そトその春

日9R01#010S：日謝開

高会員機機五 回上第

スバくヤキ機子 卒大西関：西 機

ロアJ代器の会機委の機、>へるで開類多機委の了Jご門器カ世機、る依特機委の機単会員委出さ葉手本
 コ機平机、すまふまぶのみ式とぶう器の機令、し機ひ機さ机機委の機主自の平心書、事の機機付てりまー
 コとえるで器器>き大コ機器機人る天支ま器器のてそーりしとー口、J外若器多機委の門器カ世機コるお
 .すまいは了J機機

■青少年奉仕部門

青少年活動委員会

委員長	末田 良介 (大阪そねざき)	委員	丸尾 照二 (大阪御堂筋)
副委員長	金馬 隆仁 (吹田江坂)	委員	植田 昌克 (大阪北)
副委員長	新庄 幸一 (枚方)	委員	辻本 容治 (寝屋川)
副委員長	岡本 啓吾 (大阪中之島)	委員	二上 寛弘 (大阪阿倍野)
		委員	井上 嗣仁 (大阪中央)
		委員	角本 浩一 (大阪城北)
		委員	桑田日出男 (大阪難波)
		委員	岡本 雄二 (大阪大淀)

●実施状況及びコメント

少年少女ニコニコキャンプ

開催日：2010年8月6日～8日

場 所：枚方市野外活動センター

ホストクラブ：枚方RC

秋のライラ(初級ライラ)

開催日：2010年10月9日～11日

場 所：関西大学 高槻キャンパス

ホストクラブ：大阪難波RC

秋のライラ(上級ライラ)

開催日：2010年10月9日～11日

場 所：関西大学 高槻キャンパス

ホストクラブ：大阪難波RC

春のライラ(初級ライラ)

(東日本大震災の為、中止致しました。)

第1回 正副委員長会議

開催日：2010年10月9日

場 所：関西大学 千里キャンパス

本年度も当委員会単独の活動枠から、新世代部門としての活動を展開するべく、他の委員会と協力してロータリアンは勿論の事、青少年の自主的活動参加を呼び掛け、今後の礎となったものと考えます。次年度にはさらに新世代部門の活動を活性化し、ロータリークラブの将来を支える人材育成に大きく寄与するように期待しております。

ローターアクト委員会

委員長	山内 康俊 (大阪西)	委員	津本 清次 (大阪淀川)
副委員長	梅澤喜八郎 (東大阪西)	委員	横田 孝久 (東大阪)
副委員長	福室 忠正 (吹田)	委員	清水雄一郎 (大阪北)
副委員長	中村 剛 (大阪南)	委員	大水 勇 (大阪住吉)
副委員長	永田 大介 (池田)	委員	油井 滋 (大阪西南)
		委員	田中 隆弥 (池田くれは)
		委員	中川 順子 (大阪ネクスト)
		委員	一由 麻里 (東大阪東)

●実施状況及びコメント

当委員会は、13名の地区各地域より選出されたメンバーで構成されており、委員全員が積極的に第2660地区ローターアクトの活動を管理・監督し、1年を通じ大過なく予定通りに会議・行事をこなすことができたと考えております。

行った行事の項目を列挙すると次の通りです。

地区行事として、第一回地区献血・連絡協議会(7月18日)、全国統一アクトの日(9月12日)、第二回地区献血・連絡協議会(2月20日)、世界RAC DAY(3月13日)、新旧理事役員研修会(4月17日)、地区年次大会(5月15日)、リーダーシップフォーラム・新人研修会(6月19日)を開催し、多数のローターアクターが参加しました。

その他地区行事として、40・60地区交流会(8月28日～29日)、海外研修(RID3480台湾11月20日～11月23日)、四地区合同情報交流交換会(1月30日)、第23回全国ローターアクト研修会(RID埼玉2月11日～2月12日)、若者による日本シンポジウム(3月26日～27日)

周年行事として、大阪西RAC35周年(3月20日)、大阪淀川RAC25周年(4月10日)、吹田RAC25周年(5月29日)が開催されました。

又、青少年活動委員会の行事である少年少女ニコニコキャンプ(8月6日～8月8日)、RC地区大会(10月29日～30日)、秋のライラ(10月9日～10月11日)、春のライラ(4月29日～5月1日)、にも積極的に参加しました。

又、会議として地区役員会を毎月第二・第四木曜日に、北・中・南の各ゾーン行事も無事開催されました。

●その他特記事項

3月11日、東日本大震災があり、日本列島に大きな衝撃がはりました。

あらゆる行事に影響がでましたが、RACの熱意と根気で何とか予定の行事をやり遂げることができました。

本年度 単独事業である「ええで！ VIVA大阪 若者のための日本文化シンポジウム」が3月26日・27日の両日開催され、大阪市民の方々とクリーンハイクを通じて共に汗を流し、直接RACを市民の方々に発信できました。

●一年間を振り返って

行事があまりに多いので、毎週の行事をこなすことにかなりの労力が必要です。そこで、今後は、必要な行事をいくつか合体させたり、不必要な行事の廃止を検討する等、無駄を省くことに注力すべきだと実感しました。

インターアクト委員会

委員長 谷野 清孝 (大阪天王寺)

委員 田中 康正 (八尾)

副委員長 廣内 謙 (大阪南)

委員 奥田 吾朗 (大阪)

委員 中野 秀一 (大東)

委員 西尾 良一 (大阪住吉)

●実施状況及びコメント

今年度インターアクト委員会では「地域を育み、大地をつなぐ」に沿い、地域社会の奉仕と国際理解の拡張を目指し活動を行いました。

<活動状況>

1. 韓国(ソウル)海外研修

8月6日から3泊4日の日程で、担当校 浪速中学・高等学校、提唱クラブ 大阪住吉RCにより、国際交流を深めるため韓国(ソウル)第3650地区Hanyoung外国語高等学校IACを訪問しました。訪問団員は大谷PGを団長にインターアクター37名、顧問7名、ロータリアン8名の総勢52名です。

1日目は自由の橋、統一展望台を見学、2日目はホスト校であるHanyoung外国語高等学校を訪問して、共同奉仕活動としてShinawon養護施設で清掃作業等々の奉仕をしました。夜は第3650地区南大門RCホストで始まり、浪速高校の雅楽演奏、四天王寺学園による「南京たますだれ」を披露して、日韓の交流会に花を添えました。3日目は韓国民族村、市内観光、Jump公演を観劇しました。最終日は景福宮、南大門市場を見学して、解団式を行ない無事帰路に着きました。

韓国の日常文化、生活を学び、日韓交流の橋渡しになりましたと思います。

2. インターアクトクラブ年次大会

9月26日大阪桐蔭中学・高等学校にて「世界の子供たちに文房具を贈ろう」というターゲットで、松本G、吉川PG、岡部GEを迎え、総勢127名の参加で開催されました。

講演には松本秀作理事長代理による「国境なき奉仕」の活動を聴き、あらためて「奉仕」という言葉の重みを感じました。その後、シンフォニックホールにおいて大阪桐蔭吹奏楽部による演奏で心が癒された思いでした。午後からは生徒がグループに分かれて、文房具の分別梱包、メッセージカードの作成と有意義な奉仕活動を推進できたと思います。

3. 活動誌「SCRUM#36」発行

IAの活動誌「SCRUM#36」が2011年3月に発行されました。1年間の様々なインターアクター達の活動状況を59ページにまとめたものです。担当校の金光八尾中学・高等学校にまとめていただきました。

4. 新入生歓迎会

今年度は2011年6月5日、生駒山麓公園野外活動センター広場にて開催されました。

インターアクター、顧問先生、ロータリアン総勢115名が参加し、生駒駅より現地まで4.5kmをハイキングで登り、活動センターで7班のグループに分かれ、自己紹介の後バーベキューの共同作業で楽しみました。

生駒駅での集合時には慣れていないインターアクターがハイキング途中で打ち解け合う姿をみて、他校の生

青少年交換委員会

委員長	金本恒二郎	(大阪天王寺)	委員	小林 博隆	(大阪梅田)
副委員長	野村 正勝	(箕面中央)	委員	濱谷 和也	(東大阪)
副委員長	角谷 真枝	(茨木西)	委員	森本 章裕	(大阪天満橋)
			委員	宮後 繁樹	(大阪天王寺)
			委員	岩佐 厚	(大阪心斎橋)
			委員	神田 保廣	(摂津)
			委員	辻村 和弘	(大阪大手前)
			委員	荒内 邦光	(大阪ネクスト)

●実施状況及びコメント

- ・月例及び臨時委員会：毎月の委員会に加え臨時委員会2回開催
- ・派遣学生オリエンテーション：選考会以降毎月1回のペースで全9回実施、
- ・来日学生オリエンテーション：
来日直後の8月にガバナー事務所にて実施、姫路市書写山にて第2640地区、第2680地区と合同で1泊研修会を実施、別途希望者を対象に日本語スクールを9回(来日直後続けて3回、年内6回)開催
- ・来日・派遣候補生広島方面研修旅行(2泊3日)：
当初4月中旬の開催予定だったが、東日本大震災の影響で延期となり、6月17日～19日改めて3地区合同にて実施。延べ35名(当地区来日生は全員、派遣候補生は3名)が参加し、戦争の愚かさ核兵器の悲惨さ、唯一の被爆国日本が平和を希求し戦争を放棄して非核三原則を守っていることを学ぶのをメインとし、日本文化の体験、高度橋梁技術の見学、美観の鑑賞等により日本への理解と関心を深めてもらった。
- ・ROTEX活動に対する支援、助言：派遣学生として交換プログラムを終えた者達が自動的に加入する団体であるROTEXの活動(来日学生のケア、派遣学生の相談、年次総会、月次例会、スピーチコンテスト、日本文化体験、クリスマスパーティー、スポーツ大会、帰国学生オリエンテーション、新ROTEX歓迎会)を年間通して物心両面でサポート。
- ・ホストクラブ、ホストファミリー、受入高校、派遣スポンサークラブへのオリエンテーション及びカウンセリング

●その他特記事項

- ・来日・派遣学生スキーツアー(車中2泊現地2泊)：
3月下旬の開催予定だったが、信州北部地震の影響で中止。なお、次年度以降は3地区合同にて東京方面研修旅行へと発展的に解消される予定。
- ・震災発生から1か月後の4月10日、当地区がホストとなり「臨時全国青少年交換委員長会議」を開催。来日学生達の安否確認と将来の原発危難への対策を協議した(6月4日、5日松山で開催された「日本青少年交換研究会」では災害時の危機管理もテーマに加えられた)。
- ・3年来の企画と登録者の集積を経て「ホストファミリー・バンク」が漸く機能し始めた。
- ・選出すべき委員の総数を減らすとともに、次年度委員の選出・推薦には各方面より情報を入手するなどして万全を期した。

●一年間を振り返って

今年度は、例年にも増して来日直後からの、オリエンテーション、研修、日本語スクールと、来日生のケアを手厚くしたためか、来日中のトラブルは比較的少なくなかった。また、派遣中の派遣学生達においても、早期帰国に関わるような大きな問題は全く発生しなかった。

国際奉仕・WCS委員会

委員長	小林 澄子 (守ロイブング)	委員	石田 秀 (大阪西南)
副委員長	古澤 照明 (豊中)	委員	谷村 佳昭 (東大阪西)
副委員長	西邨 智雄 (香里園)	委員	栗原 大 (大阪フレンド)
		委員	吉田 政雄 (茨木)
		委員	小林 哲 (吹田)
		委員	上場 俊哉 (高槻東)
		委員	糸川千恵子 (大東中央)

●実施状況及びコメント

1. 海外視察の実施

2010/07/19~07/23 カンボジアP グラフィス診療所開所式出席

2011/04/29~05/09 インドネシアP フレンドリーブリッジ贈呈式出席

2. クラブ委員長会議 2回

2010/07/24

1回目はIMごとにテーブルを設け、ガバナー補佐・IM担当者を交えてテーブルディスカッションの形式を取りました。効果は即時に現れ、ミーティングの中で協力体制ができ、その後大型プロジェクトが実現しました。

2011/03/12

2回目はおりしも東日本大震災に見舞われた翌日でした。日本が第二次世界大戦敗戦後、国際社会から長年に亘り援助してもらった話をもとに、国際奉仕の原点について啓蒙しました。又、ゲストスピーカーにはパイロット地区としてWCS事業に取り組んでいる貴志英生第2650地区財団地区事業委員長をお迎えし、事業報告を通じて2013~15年から始まる「未来の夢計画」への導入をしていただきました。それによって次年度からはロータリー年度をまたがって事業計画をする必要があることを参加者の皆さんに認識していただきました。

3. 地区国際奉仕・WCS委員会 12回

毎月1回開催した委員会は、DDFの審査及び地区委員の研修を目的としていますが、今年は五味財団人道的補助金委員長に出席していただきロータリー財団の情報を速く正確に受取ることが出来ました。又、毎月全クラブに宛に発信しているニュースレターの内容についても取捨選択でき有用な時間となりました。

●その他特記事項

毎月1回全クラブに向けてニュースレターを発行しています。情報をメールで受取れる方には即時流し、例会では委員会報告で発表し、会員の皆様に、国際奉仕活動は一部の人ではなく、皆さんと共に活動をしていることを実感していただけるようになることを願っています。

●一年間を振り返って

全ての皆様のお陰を持ちまして、自分なりに良く働かせていただくことが出来ました。充実した1年間に心より感謝しています。有難うございました。

ロータリー財団委員会

(西大阪) 栗田 田谷
(西大阪) 藤田 林谷
(北摂) 大瀬 瀬原
(北摂) 藤田 田吉
(田南) 菅 林小
(東大阪) 藤野 藤土
(北摂) 千恵 千川

委員長 福家 宏 (八尾中央)

副委員長 溝畑 正信 (東大阪東)

委員 百済 洋一 (東大阪中央)

委員 吉崎 広江 (東大阪東)

委員 梅崎 道夫 (大阪城南)

委員 五味 千秋 (大阪心斎橋)

●情報収集活動 以下の会合に出席

- 7/ 1 ロータリー財団ゾーン会議
- 7/ 2 ロータリー財団地域セミナー
- 8/ 7 RID2650(パイロット地区)の地区財団セミナー
- 11/24 ロータリー財団地域セミナー
- 4/25~4/26 ロータリー財団ゾーン会議

●情報提供活動

- 2010年 3/20 PETS
- 2010年 4/24 地区協議会の部門別協議会
- 7/22 地区研修委員会にて「未来の夢計画」(以下FVPと記載)の情報提供
- 8/28 地区財団セミナー
- 10/23 クラブ財団委員長会議
- 2/22 ガバナー補佐エレクト会議にてFVPの情報提供
- 3/22 ガバナー補佐エレクト会議にてFVPの情報提供2回目

その他の情報提供活動として、財団部門各委員長や副委員長が地区内の多数のクラブで卓話を通して情報提供を行った。

●協議

- 2/10 DDFシェア会議

●その他

- 12/16 第1回地区財団FVP委員会開催 以後2/17、3/24、5/17に開催。
5/17にはRID2650(パイロット地区)の大塚紀夫地区補助金委員長を講師に迎え研修
(地区財団FVP委員会は地区ロータリー財団委員会とは別組織として発足)

財団情報・増進委員会

(東大阪) 近藤 平山 会長
 (東大阪) 三好 徹人 副会長
 (東大阪) 登 望 副会長
 (東大阪) 千原 秋三 副会長
 (東大阪) 藤原 誠 副会長
 (東大阪) 安部 土剛 副会長
 (東大阪) 人谷 谷木 副会長

委員長 百済 洋一 (東大阪中央)
 副委員長 柏木武生宣 (八尾)

委員 鈴木 肇 (大阪船場)
 委員 竹井三千彦 (大阪西北)
 委員 今西 敦之 (八尾)
 委員 杉村 雅之 (大阪中之島)

●実施状況及びコメント

○実施報告

2010年8月28日(土) 地区財団セミナー 13:30~16:30 大阪YMCA会館

2010年10月23日(土) クラブロータリー財団委員長会議 13:30~16:30 大阪YMCA会館

IM組別 テーブルミーティング実施 リーダー：各組ガバナー補佐

テーマ ①あなたのクラブはロータリー財団月間に何をしますか？

②あなたはクラブ財団委員長として寄付増進のためにどのように活動しますか？

2010年10月29日~30日 第2660地区大会 友愛広場にてロータリー財団委員会のパネル展示

2010年11月 ロータリー財団月間 大阪天満橋ロータリークラブ・池田ロータリークラブ・東大阪中央ロータリークラブにて卓話を実施

●一年間を振り返って

財団情報・増進委員長として、年次プログラム基金に寄付することの重要性・ポリオ基金の重要性を強く感じました。又、ロータリーカードの財団貢献プログラムの寄付増進のお願い等について活動しました。

財団奨学金・学友委員会

委員長 梅崎 道夫 (大阪城南)

副委員長 河内 幸枝 (吹田)

委員 山下 勝弘 (東大阪)

委員 入船 禎三 (大阪東)

委員 北埜 登 (東大阪東)

委員 三好えり子 (大阪そねざき)

委員 牧尾 晴喜 (大阪ネクスト)

委員 阪上 博史 (茨木東)

委員 水谷 治人 (守口)

委員 木村 聡 (大阪南西)

委員 岸本 和久 (大阪城東)

●実施状況及びコメント

2011～12年度の国際親善奨学生候補者に対し、3回のオリエンテーションを実施しました。第1回は、ロータリーおよびロータリー財団についての知識を学んで頂くための情報提供を致しました。その時の講演は、佐藤前財団委員長にお願いしました。第2回は、堺市の妙國寺をお借りして、岡部ガバナー・エレクトより、妙國寺の縁起にまつわる講話を頂き、三好委員から、お茶のお点前の実演と指導を頂きました。第3回は、奨学生候補者が留学先で、地元ロータリアン等の前で言うプレゼンテーションを留学先の言語で実演してもらいました。各委員からは、そのプレゼンに対する意見とアドバイスを提供致しました。

平和フェローについては、募集を致しましたが、残念ながら応募はございませんでした。

ロータリー財団セミナーでは、イギリスに留学された元財団奨学生西口三千恵さんに、カンボジアでの医療奉仕活動についての報告を頂きました。

地区大会では、元財団奨学生の倉内奈穂子さんがアフリカでのロータリアンとの交流についての基調報告をされました。

●その他特記事項

財団奨学生OB・OGで構成されるPSC会員とGSEの派遣プログラムで海外で研修されたGSEのOB・OG並びに米山奨学生OB・OGとの交流を図るため、合同で忘年会を実施しました。

●一年間を振り返って

福家財団委員長、各クラブの財団関係の方々、PSC会員の皆さん、ガバナー事務所の皆さんをはじめ、多くの関係者の皆様のご指導・ご支援により、なんとか職責を果たせたのかなと思います。皆様のご協力に感謝申し上げます。

研究グループ交換委員会

委員長 吉崎 広江 (東大阪東)

委員 西野 博子 (大阪イブニング)

副委員長 岸上 億則 (千里メイプル)

委員 田中 義久 (大阪西)

委員 田邊 司郎 (寝屋川)

委員 米田 真 (豊中)

委員 松本 浩一 (大阪北)

委員 山本 和良 (大阪南)

●実施状況及びコメント

1. スリランカ第3220地区からのGSE受け入れ(3月26日)に向け、地区内クラブと共にプログラム策定をおこなってきたが、先の東日本大震災により受け入れを延期した。ほぼ内容も固まり、あとは受け入れを実施するだけのところまで準備ができていたため、ご努力いただいた実行委員会のメンバーの皆様には大変申し訳ない思いであった。
2. 2011-2012年度スリランカ派遣チームの団員募集活動をおこなった。
3. 地区内の各種行事、合同地区委員会7/17・地区財団セミナー 8/28等でプログラムの予定と内容を報告し、地区内への周知活動を行った。
4. 財団月間を中心に、昨年度のテキサス訪問チームの卓話を実施した。(8クラブ：大阪本町、茨木東、大阪大手前、大阪船場、大阪咲洲、大阪中央、高槻西、大阪東)
5. 毎月1回、委員会の会合を持ち、各々の役割分担に沿って活動を滞りなく進めて行った。
6. GSEアルムニ会の諸活動へ参加し、活動支援をおこなった。

●その他特記事項

スリランカチーム受け入れは、2011-2012年度の11月4日-12月1日に決定。その翌年はハンブルグとの交換予定。

●一年間を振り返って

多くの皆さんが関わるGSEプログラムは委員会活動が大変忙しく、委員の皆さんとガバナー事務所の多大なるご協力で何とか活動が出来ました。受け入れが延期となったのは残念ですが、また次年度に実りの多いプログラムに集大成されると期待しています。1年間ありがとうございました。

財団法人道的補助金委員会

委員長	五味 千秋 (大阪心斎橋)	委員	家村 武志 (吹田西)
副委員長	和氣 主 (大阪北梅田)	委員	樋口 信治 (大阪)
副委員長	川田 隆 (八尾)	委員	鴻池 一季 (大阪北)
		委員	廣瀬 讓 (豊中南)
		委員	吉川 仁育 (大阪なにわ)

●実施状況及びコメント

2010年7月より2011年6月までの活動期間のうち毎奇数月第3木曜日に委員会を開催し(そのうち7月と1月は国際奉仕・WCS委員会との共同開催)、委員会に引き続き地区補助金(DSG)審査会を開催した。またマッチンググラント(MG)を用いた世界社会奉仕活動のうち地区財団活動資金(DDF)の使用申請については適宜申請を受付けメールにて持ち回り審査を実施した。

世界社会奉仕活動のための地区財団活動資金(DDF)については予算\$65000に対して合計16件の申請があり、その内2件は申請が取り下げられ、最終的には14件\$82930の申請額となり全て承認された。予算超過分\$17930については、東日本大震災支援プロジェクト3件のためのものであり、次年度DDF繰越分を前倒し使用することで対応した。

地区補助金(DSG)については予算\$50000に対して合計30件の申請があり、その内2件は申請が取り下げられ、また2件は不承認となり、最終的には26件\$50000の申請承認で100%の予算消化となった。26件のうち4件は海外での実施プロジェクトであった。

地区財団活動資金(DDF)、地区補助金(DSG)共に大いに活用されたことは、各クラブにその内容が良く理解され当地区の社会奉仕活動、国際奉仕活動が活発に展開されたことを示している。各プロジェクト実施後の報告もほぼ順調になされており特段の問題は無いものと思われる。

●その他特記事項

DDF、DSG共に予算100%使用後に東日本大震災が発生し、時々刻々変化する状況の中でその支援のためのプロジェクトを如何に的確に実施すべきか柔軟な対応が求められた。この状況は当面続くものと思われるので、当委員会も含めた関連委員会の横の連携を強化し地区としての適切な対応が求められる。

●一年間を振り返って

委員会の出席率は高く、各委員の意欲は旺盛であった。補助金の審査だけではなく、既存の仕組みを変える提案等にも活発な意見交換がなされた。各委員の献身的な貢献と努力に心からの敬意と謝意を表すものである。

■米山奨学部門

米山奨学委員会

委員長 磯田 郁子 (大阪東淀ちややまち)	委員 村橋 義晃 (大阪中之島)	委員 小山 義之 (大阪鶴見)
副委員長 武島 秀吉 (大阪御堂筋)	委員 米田 猛 (大阪西)	委員 和田 武彦 (大阪梅田東)
	委員 田中 真人 (大阪北)	委員 吉田 悦治 (大阪大淀)
	委員 西谷 雅之 (大阪城南)	委員 有竹 正巳 (大阪東)
	委員 大西 寛司 (大東)	委員 榊原 春枝 (大阪柏原)
	委員 中川 和之 (大阪船場)	

●実施状況及びコメント

年間行事予定に従い、すべて予定通り実施した。

◆クラブ米山奨学委員長・カウンセラー研修会(2010年8月7日)

クラブ米山奨学委員長には米山奨学制度の理念と活動方針の理解を深め、寄付活動の促進をお願いした。クラブカウンセラーには奨学生との更なる信頼関係構築を依頼した。後半のテーブル毎のバスセッションでは活発な意見交換が行われた。

◆奨学生レクリエーション(2010年10月17日)

宝塚歌劇観劇のレクリエーションを通じて、奨学生に日本文化に触れる機会を提供し、懇親会にてロータリアンとの親睦を深めた。また各奨学生の近況報告等を発表してもらい、相互理解を深めるよい機会となった。

◆奨学生採用書類選考(2010年12月20日頃)

地区役員及び地区委員によって指定校の担当教授から推薦された応募奨学生の推薦書、学業成績、小論文等による一次書類選考を行なった。

◆2011年度奨学生採用面接選考(2010年1月15日)

2011年度の奨学生選考に際し、学業成績のみではなく米山奨学制度の理念と日本の文化を正しく理解し、ロータリアンと良好な信頼関係を構築出来るコミュニケーション能力のある奨学生の選考を行なった。

◆米山奨学生による日本語スピーチコンテスト(2011年2月19日)

今年度初めての試みであったが14名の応募があり12名が出場。素晴らしい日本語によるスピーチを行った。多くのロータリアンに米山奨学生の考え、主張を聞いてもらう良い機会となった。

◆奨学生終了歓送会(2011年2月27日)

米山奨学生の終了に伴い、カウンセラー、担当教授の同席を得て終了証、記念品の贈呈を行ない、奨学生修了を祝った。またカウンセラー、担当教官への感謝を表し、相互の信頼関係の促進と奨学生修了後の学友会への入会促進を行なった。またスピーチコンテストの最優秀賞の学生のスピーチを行った。

◆新規採用奨学生オリエンテーション(2011年4月11日)

世話クラブのカウンセラーと奨学生の相互理解を支援し、奨学生には米山奨学生としての心得を理解させ、カウンセラーのロータリアンには諸手続の案内と奨学生との信頼関係構築をお願いした。PPTを使い、米山奨学制度の内容や意義を十分理解してもらえたと思う。

●その他特記事項

- ・今年度は新たな試みとしてスピーチコンテストを開催した。
- ・10月の米山月間には16クラブに卓話へ行き、米山奨学生度への理解と協力をお願いした。
- ・第1期現地採用奨学生のタイヴァンナム(ベトナム)が今年度で学位を取得し帰国した。

●一年間を振り返って

地区内ロータリアンに広く米山奨学制度を理解してもらうことができたと思う。またスピーチコンテストやそれぞれのクラブでの卓話を通じて米山奨学生のすばらしさを伝えることができたように思う。

地区大会実行委員会

(京大) 文部 山小 員長 (京大) 長藤 藤林 員長
 (京大) 香月 田麻 員長 (京大) 益 田米 員長
 (京大) 岩野 田吉 員長 (京大) 人前 中田 員長
 (京大) 日玉 竹青 員長 (京大) 女部 谷西 員長
 (京大) 林春 原野 員長 (京大) 巨賀 西大 員長
 (京大) 文部 川中 員長

委員長 **今川 憲治** (八尾)
 副委員長 **坂本 憲治** (八尾)
 幹事 **菅野 茂人** (八尾)
 プログラム委員長 **横井 憲二** (八尾)

2010～2011年度地区大会は、10月29日、30日の2日間、大阪国際会議場、リーガロイヤルホテル大阪において、盛大に無事終える事が出来ました。改めてご協力頂いた皆様、多数のロータリアンに対して感謝申し上げますとともに、感慨無量であります。本大会は、「学びながら楽しむ」を念頭に、出来る限り手作りのプログラムを作成するよう努力致したつもりであります。

大会第1日目は、田中 毅様ご夫妻を国際ロータリー会長代理としてお迎えし、田中作次国際ロータリー会長ノミニ、板橋敏雄R1元理事にもご出席頂き、盛大に開催致しました。

会長幹事会には「国際社会における日本の立場」と表し、国家戦力アナリストの青山繁晴氏にご講演頂きました。分科会Ⅰでは五大奉仕、新会員に対して「みんな地球に生きるひと」をテーマにアグネス・チャン様にお話しをして頂きました。分科会Ⅱにおきましてはロータリー財団、米山奨学会を題目に、カストロホアン・ホセ氏、倉内菜穂子様にご大役をお願い致しました。友愛の広場、家族の集いにおきましてもゆっくり時間を過ごして頂く企画と致しました。

晩餐会は、参加しやすい登録料とし、ロータリアンの手作りのウエルカムレセプションを目指し、楽しい晩餐会になったと思います。

大会第二日目の本会議は、出来る限りスピーディに無事進行することが出来ました。記念イベントには「和と洋、西と東」雅楽とヴァイオリンのハーモニーの時間を楽しんで頂き、時間通りに松本ガバナーの閉会点鐘を聞き、菅野大会幹事と感動を分かち合いました。

過日、地区大会記録誌も皆様に発送することを済ませ、肩の荷を下ろすことが出来ました。2年間、色々苦労もありましたが、多数の方々のご協力を得て、素晴らしい経験をさせて頂き、まさに「学びながら楽しむ」を実感出来た2日間でありました。

関係各位、参加下さいましたロータリアンに対して感謝致しております。

ロータリーの友

(神戸) 文昌 中田 委員長

地区代表委員 井川 孝三 (八尾)

(新西条大) 介晋 谷高 副委員長

(南新西条大) 夫重 藤崎 副委員長

(神戸) 匡憲 林林 副委員長

□ 昨年度まで任意団体として活動してきたロータリーの友事務所が今年度から、一般社団法人「ロータリーの友事務所」として法人化されました。ロータリーの友は、1953年1月号を創刊号としてスタートし、1980年7月号より公式地域雑誌として認められました。今後においてもRIの定める公式地域雑誌としての認定条件をクリアするには、任意団体のままでは難しくなってくる、ということが法人化された1つの理由です。法人化されたことによって財政の安定化、損害賠償保険の加入、銀行口座の開設などが可能となりました。

主な活動報告の項目は、次の4点です。

1. 合同委員会、ゾーン別会議に出席し、他地区の情報を得ることができた。
 合同委員会及びオリエンテーション(年4回)
 ゾーン別会議(年2回)
2. 毎月のレポート提出(友誌の感想等)
 横組みの記事を中心に提出。特にロータリーの綱領や原点の記事についてレポートした。
3. 地区内の活動情報提出
 地区大会などのレポートを提出
4. 卓話などを通じて「ロータリーの友」に関する理解を深めてもらい、読書率向上と活用促進を呼びかけた。

財務委員会

委員長	田中 昌之	(八尾)
委員	高谷 晋介	(大阪西南)
委員	梅崎 道夫	(大阪城南)
会計	松村 康司	(八尾)

◎ 毎年会員数が減少する状況下、収入予算が減少する制約があるため、地区委員長からの事業計画・予算について、十分なヒアリングを行いました。その上で、財政面から前年度に引き続き地区活動のより一層の緊縮予算の策定に務めました。

本年度の決算の概要は次のとおりです。

(1)一般会計

○「地区運営資金」の収支に関して

- ①「地区運営資金」の収入予算は、会員数3,750名と見込んで策定致しました。「地区資金収入」の実績は、ほぼ見込み通りで(1名当たり9,500円) 予算35,625,000円に対して実績36,104,750円でありました。また、R I助成金・雑収入を含む地区運営資金の収入合計ベースでは、予算37,625,000円に対して、実績42,039,783円となっておりますが、これは、雑収入の増加に起因するものです。即ち地区協議会のホストクラブからの残金返戻金を予算上は保守的にゼロと見ておりましたが、ホストクラブからの返戻とガバナー月信購読料収入等含めて3,887,929円の雑収入を計上することが出来たからであります。
- ②一方、支出予算に関しましては、皆様のご協力の甲斐もあって、運営資金の総支出予算額41,150,000円に対して、実績41,668,520円と支出予算を僅かに上回る程度で収まりました。
- ③以上の結果として、収支差額は予算において、3,525,000円の赤字を見込んでおりましたが、実績では、371,263円の黒字を計上することができ、繰越金(次期繰越金26,706,746円)を僅かでありましたが増加させることができました。

○「地区活動資金」の収支に関して

- ①「地区活動資金」の実績収入に関しましては、(1名当たり7500円で)ほぼ予算通りの28,503,750円の計上となりました。
- ②一方、支出に関しても、各委員会とは事前の活動計画と活動予算のヒアリングにより緊縮予算策定とその運用に協力いただきました。各委員会の予算超過支出につきましても、地区運営資金同様の手続きに従って「予備費使用申請書」を提出して頂きました。
尚、本年度は予備費を2,339,000円(1,139,000円増)上記申請書に対応することができました。
- ③以上の結果として、各委員会の総活動費支出実績(23,123,556円)は、地区活動資金の総支出予算(28,625,000円)の範囲内に収まりました。その為、収支差額は予算において500,000円の赤字を見込んでおりましたが、5,380,194円の黒字となり次年度繰越額は31,727,967円となりました。

(2)特別会計及び地区基金

○「地区大会資金」については、(1名当たり大会資金5,000円と全員出席登録5,000円で合計10,000円)

全員登録をして頂き、前年度繰越金7,905,257円及び本年度地区資金からの繰入金19,290,000円を地区大会会計に充当しました。収支報告は、地区大会記録書に記載のとおりであり、次年度繰越金は9,245,981円となり、前年度に比べて1,340,724円の増額となりました。

- 「米山奨学生活動費」は(財)米山記念奨学会からの補助金と委員からの登録料で運営され、収入合計は3,138,167円でした。剰余金は財団へ返金され、繰越金はありません。
- 「世界社会奉仕基金」は、収入として、クラブからの拠出金が1,964,000円であり、プロジェクト資金として支出が2,622,391円でした。次年度繰越金は、前年度繰越金2,144,659円と収支差額分(赤字)△371,508円の合計1,773,151円となりました。
- 「R I 規定審議会派遣積立金」は、本年度は従前通りに400,000円の繰入金の増加を行いましたが、次年度繰越金は1,054,400円となります。
- 「ロータリー研究会準備資金」は、予算通り1,000,000円を地区活動資金から繰入れを行うと共に、ロータリー研究会の開催に向けて地区基金より5,000,000円取り崩しました。従って、次年度繰越金はゼロとなっております。
- 「地区基金」については、地区財政基盤の安全確保のための基金であり20,000,000円を固定化しておりましたが、ロータリー研究会開催費用として5,000,000円を取り崩しました。以上の結果、次年度繰越金は15,000,000円となりました。

(3)総括

当初の予算では、単年度で赤字の予算(運営資金予算:△3,525,000円、活動資金予算:△500,000円)を組んで、繰越資金を取り崩して予算策定しました。しかし、決算の結果は「地区運営資金」につきましては僅かではありますが黒字(371,263円)を計上し、地区活動資金につきましても、黒字5,380,194円にすることができました。これは、予算策定の段階から、各委員会の皆様のご協力により、活動内容の見直しと経費削減にご理解を賜わり、地区委員の皆様が結束して、ご尽力下さった結果だと考えております。各委員会の皆様には、予算の範囲内での運用に、ご協力下さいましたことに、深く感謝申し上げます。厳しい経済情勢と会員の減少が続く中、今後さらに財政基盤を安定させるためには、地区活動全般について、予算面からも更なる見直しを続け、予算精度の向上を諮る必要があるものと考えます。

最後に、今後の財務委員会の課題といたしましては、地区運営資金の次年度繰越金(26,706,746円)及び地区活動資金の次年度繰越金(31,727,967円)併せて58,434,713円の繰越金の有効活用について、検討を重ねて行く必要があるものと思料するところです。

科目	金額	前年度	増減	科目	金額
1 雑収入	4,286,177	4,300,000	13,823	1 雑収入	4,286,177
2 雑収入	17,206,287	16,200,000	1,006,287	2 雑収入	17,206,287
3 雑収入	2,821,789	2,300,000	521,789	3 雑収入	2,821,789
4 雑収入	1,800,286	1,300,000	500,286	4 雑収入	1,800,286
5 雑収入	857,788	800,000	57,788	5 雑収入	857,788
6 雑収入	1,381,710	1,400,000	18,290	6 雑収入	1,381,710
7 雑収入	1,709,182	1,600,000	109,182	7 雑収入	1,709,182
8 雑収入	27,482	100,000	(72,518)	8 雑収入	27,482
9 雑収入	377,288	600,000	(222,712)	9 雑収入	377,288
10 雑収入	122,000	200,000	(78,000)	10 雑収入	122,000
11 雑収入	737,607	700,000	37,607	11 雑収入	737,607
12 雑収入	0	200,000	(200,000)	12 雑収入	0
合計	30,911,824	30,900,000	11,824	合計	30,911,824

2010-2011年度 国際ロータリー第2660地区 地区資金決算書

2010年7月1日~2011年6月30日

ガバナー 松本新太郎
代表幹事 池尻 誠
財務委員長 田中 昌之

地区運営資金

■収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	実 績	備 考
1. 地区資金	35,625,000	36,104,750	
2. RI助成金	2,000,000	2,047,104	
3. 雑収入	0	3,887,929	
収入合計	37,625,000	42,039,783	

■支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	実 績	備 考
A. 負担金			
1. ガバナー会	800,000	759,700	
2. ロータリー文庫	1,200,000	1,127,550	
3. 平和奨学生支援協力金	60,000	56,625	
小 計	2,060,000	1,943,875	
B. 会議費			
1. PETS・地区チーム合同セミナー	900,000	1,878,585	
2. 合同地区委員会	900,000	939,060	
3. 財団セミナー	400,000	428,060	
4. DGPGGE会議	300,000	0	
5. G補佐・地区幹事会	50,000	6,300	
6. GE国際協議会	730,000	730,000	
7. 予備費	100,000	0	
小 計	3,380,000	3,982,005	*
C. ガバナー経費			
1. ガバナー事務所経費	29,850,000	30,911,824	内訳別掲
2. ガバナー月信費	5,500,000	4,701,416	
3. ガバナー補佐経費	100,000	29,400	
4. 直前DG記念品	100,000	100,000	
小 計	35,550,000	35,742,640	*
D. 総予備費	160,000	0	
支出合計	41,150,000	41,668,520	
収支差額	-3,525,000	371,263	
前年度繰越金	7,197,588	26,335,483	
次年度繰越金	3,672,588	26,706,746	

*印は大科目間流用

■ガバナー事務所経費

(単位:円)

科 目	予算額	実 績	備 考
1. 家賃・光熱費	4,500,000	4,286,177	
2. 給料・手当	16,250,000	17,506,557	
3. 社会・労働保険料	2,300,000	2,621,759	
4. コンピューター関係費用	1,300,000	1,800,525	
5. DGGE交通会合費	900,000	657,730	
6. 印刷費	1,400,000	1,381,110	
7. 交通通信費	1,500,000	1,793,182	
8. 文献費	100,000	27,495	
9. 事務用品費	600,000	377,588	
10. 什器備品費	200,000	128,100	
11. 雑 費	500,000	331,601	
12. 予備費	300,000	0	
合 計	29,850,000	30,911,824	

地区活動資金

■収入の部

(単位：円)

科 目	予算額	実績	備考
1. 地区資金	28,125,000	28,503,750	
収入合計	28,125,000	28,503,750	

■支出の部

(単位：円)

科 目	予算額	実績	備考
A. 地区委員会活動費			
1. DG指名(委)	40,000	0	
2. 意義ある業績賞(委)	24,000	0	
3. クラブ奉仕部門			
クラブ奉仕・拡大増強(委)	480,000	413,165	
広報(委)	500,000	341,133	
4. 職業奉仕部門			
職業奉仕(委)	250,000	156,890	
5. 社会奉仕部門			
社会奉仕(委)	500,000	499,888	
6. 青少年奉仕部門			
新世代合同委員長会議	32,000	0	
青少年活動(委)	5,500,000	5,473,376	
ローターアクト(委)	4,320,000	3,939,889	
青少年交換(委)	5,500,000	5,452,431	
インターアクト(委)	1,900,000	1,898,083	
7. 国際奉仕部門			
国際奉仕・WCS(委)	320,000	314,967	
8. ロータリー財団部門			
ロータリー財団(委)	240,000	459,005	
財団情報・増進(委)	30,000	27,682	
財団奨学金・学友(委)	700,000	459,852	
研究グループ交換(委)	1,690,000	127,418	
財団人道的補助金(委)	30,000	28,685	
9. 米山奨学部門			
米山奨学(委)	330,000	325,992	
10. RI規定審議会派遣積立金	400,000	400,000	
11. RIJYEC維持協力金	400,000	374,200	
12. 危機管理(委)	500,000	0	
13. 予備費	2,339,000	0	
	-224,000		申請1件
小 計	26,025,000	20,692,656	
B. RI会長DG協調事業費	0	0	
C. IM広報活動補助金	2,400,000	2,400,000	
D. 研修委員会	200,000	30,900	
E. ロータリー研究会準備基金繰入れ	0	0	
支出合計	28,625,000	23,123,556	
収支差額	-500,000	5,380,194	
前年度繰越金	13,803,410	26,347,773	
次年度繰越金	13,303,410	31,727,967	

特別会計

①地区大会資金

(単位：円)

科 目	予算額	実績	備考
前年度繰越金	6,284,673	7,905,257	
地区資金	18,750,000	19,290,000	
地区大会会計へ	18,750,000	19,290,000	
地区大会会計から戻入		9,245,981	
次年度繰越金	6,284,673	9,245,981	

※地区大会会計の詳細については地区大会記録に収支計算書を掲載しております。

②米山奨学生活動費

米山奨学委員会 委員長 磯田 郁子

■収入の部

(単位：円)

科 目	予算額	実績	備考
(財)米山記念奨学会より	2,700,000	1,740,000	
選考試験補助金		472,500	
カウンセラー研修会補助金		143,500	
ホームカミング補助費		250,000	
レクリエーション登録料		447,000	
米山奨学歓送会登録料		85,000	
受取利息		167	
収入合計	2,700,000	3,138,167	

■支出の部

(単位：円)

科 目	予算額	実績	備考
米山活動費	2,700,000	レクリエーション	785,100
歓送会		1,046,520	
オリエンテーション		528,610	
ホームカミング		250,900	
米山奨学会学友会支援		470,100	
米山委員長会議		51,500	
(財)米山記念奨学会へ返金		5,437	
支出合計	2,700,000	3,138,167	
収支差額	0	0	
前年度繰越金	0	0	
次年度繰越金	0	0	

③世界社会奉仕基金

国際奉仕・WCS委員会 委員長 小林 澄子

■収入の部

(単位：円)

科 目	予算額	実績	備考
クラブ拠出金		1,964,000	
寄付		286,463	
受取利息		420	
収入合計		2,250,883	

■収入の部

(単位：円)

科 目	予算額	実績	備考
プロジェクト資金		2,606,991	
送金手数料		15,400	
支出合計		2,622,391	
収支差額		-371,508	
前年度繰越金	1,604,219	2,144,659	
次年度繰越金	1,604,219	1,773,151	

④RI規定審議会派遣積立金

(単位：円)

科 目	予算額	実 績	備 考
前年度繰越金	1,601,400	654,400	
地区活動資金繰り入れ	400,000	400,000	
次年度繰越金	2,001,400	1,054,400	

⑤ロータリー研究会準備基金

(単位：円)

科 目	予算額	実 績	備 考
前年度繰越金	1,000,000	0	
地区基金繰り入れ	5,000,000	5,000,000	
ロータリー研究会へ送金		5,000,000	
次年度繰越金	6,000,000	0	

地区基金

(単位：円)

科 目	予算額	実 績	備 考
前年度繰越金	20,000,000	20,000,000	
受取利息	0	0	
特別会計へ取崩し	5,000,000	5,000,000	
利息を本会計へ繰り入れ	0	0	
次年度繰越金	15,000,000	15,000,000	

監 査 報 告

私は、国際ロータリー第2660地区の2010～2011年度 地区運営資金、地区活動資金および特別会計について監査した結果、正確適正であることを確認します。

2011年 8月 2日

会計監査

松尾 雅明





2010-2011
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660